

東京家政大学構内の野草について

越 尾 淑 子*, 原 田 真知子**

(平成5年9月30日)

Flora in the Campus of Tokyo Kasei University

Toshiko KOSHIO* and Machiko HARADA**

(Received September 30, 1993)

(はじめに)

地球の温暖化, 生活形態の変化によって我々の周囲の動植物にも少しずつその変化が出て来ている。以前普通に見られたものがいつの間にか無くなったり, 帰化したものの勢力と, 在来種との力関係が顕著に表われたりもする。そこで, 現在の本校構内における野草を, 板橋と狭山校地の両方にわたって調査した。

本校が昭和20年戦災で焼け出され, 文京区本郷より現在の板橋の地に移転したのが昭和21年4月。ここは, 国有地であり, 江戸時代には加賀藩の下屋敷であったところで, 明治7年, その屋敷跡の西寄りに約3万坪の火薬製造所が設置され, 後に「陸軍省板橋火薬製造所」そして, 第二次大戦中における「陸軍第二造兵廠」となり, 終戦後, 占領軍の管理下に置かれた。そしてその東北隅の一角を一時使用という形で24,107坪 (79,629㎡)を使用することとなった。現在は, 1,525.97㎡の借地を含め73,571.58㎡である。東京都板橋区加賀1丁目3350所在, 加賀1丁目3356-102所在, 北区十条台2丁目1895-1所在で, 東経139° 43', 北緯35° 45', の武蔵野台地であり, 全体が高台を占めており東南側はJR 埼京線をへだてて, 都の北療育院, 養護学校 (旧第一造兵廠跡), 西南側は石神井川畔の底地に臨む台地を境界としている。北側は進駐軍貨物集積場と射撃場であり, 西側は空襲の残骸の倉庫や荒地であった。また, JR 線路沿いも進駐軍の貨物集積場であったものを幅員6mの道路として, 割譲されたのが, 昭和27年2月のことであった。

昭和27年当時の本学教授高橋敬三等による調査では約

* 東京家政大学栄養学科 生物学第2研究室

** 東京家政大学教務部教務課

150種の野生植物があったというのが, 正確な記録が残っていない。

狭山校舎所在地である狭山市は, 埼玉県南部, 海拔50m以上の武蔵野台地に位置し, 中央を入間川が貫流している。南側を, 狭山丘陵をかかえる所沢市と入間市に隣し, 北側は川越市と接している。狭山校舎の最寄り駅である西武池袋線稲荷山公園駅は昭和8年に開業された。校地は, 第二次大戦後, 米軍の進駐によりジョンソン基地がつくられ, その後昭和38年からは, 航空自衛隊入間基地となったものを, 昭和60年に払い下げを受け校舎が建設された。敷地は, 狭山市分77,276.40㎡, 入間市分1,991.31㎡合計面積79,267.71㎡であり, 所在は埼玉県狭山市入間川字ラ4938-15他, 埼玉県入間市黒須1丁目414番-8他で東経139° 22', 北緯35° 50'である。隣接し狭山警察, 経済高校, 保健所が同時期に建設された。

このように, 両校地とも武蔵野の面影を強く残している状態で払い下げられ, 校舎建設と共に序々に人工化していったと言える。

(調査期間)

板橋校舎構内; 昭和59年10月~昭和61年9月迄と, 今回平成5年4月~8月に, ほぼ2週間毎に調査・観察を行なった。

狭山校舎構内; 昭和62年5月~平成5年8月迄ほぼ毎月調査・観察を行なった。

(結果および考察)

表-1, 表-2に示す通りであるが, 板橋構内の特徴としては, オランダミミナグサ・オオアレチノギク・コニシキソウ・ダンドボロギク・タチヌノフグリ・チチ

コグサモドキ・ナガハグサ・ニワゼキショウ・ハキダメギク・ハルジオン・ヒメジョオン・ヒメムカシヨモギ・ベニバナボロギク・メマツヨイグサ・ムラサキカタバミ等の帰化植物が多くみられる。これは、第二次大戦後に進駐軍が進入、付近が貨物集積場として使用された経緯から考え、機材等に付着して運ばれた種子によって繁殖したことも考えられる。

「北区の植物」によるとツリガネニンジン・ニガナ・ホタルブクロ・ノガリヤス・ウリクサ・アキノキリンソウは稀にみられるとある。それらが構内に生育している点から見て、昔からの植生が割合良く保たれているとも言える。

さらに特筆すべき事は、カントウタンポポの群生である。北区の「区民によるタンポポ調査」によると、浮間の荒川土手を中心に所々残っており、ここを除くと大きなまとまりをもって生育している所は、ほとんどみられなかった。北区、板橋区周辺では非常に稀な生育状態であると言える。在来種であるカントウタンポポは、発育には限られた条件があるので、群生して生育していないと繁殖できない。もともとは在来種のタンポポが日本全体に生育していたのであり、年間を通して開化、結実が行なわれるセイヨウタンポポやアカミタンポポは、明治時代に入り込み、昭和初期には都内でも稀な存在だったものが、特に戦後、都市化するに伴って急激に広まったものである。このことから、板橋構内は、比較的都市化以前の自然環境を保っていると言える。しかし、ここ2、3年はセイヨウタンポポやアカミタンポポがかなり混在しており、今後もカントウタンポポの群生を保持できるか危惧される所である。

又、北区内でもきわめて稀なシロバナタンポポ（1株）は消失したが、少し移動した場所で、シロバナタンポポとカントウタンポポの交雑種が数株みられる。

ホタルブクロは、ここ2年程減少しており、その中の一カ所の生育地付近では、建物が壊される予定であることから、その場所では消滅することも考えられる。

又、平成4年の新校舎建設により、校舎前土手沿いに生育しているススキ・タイアザミ・メガルカヤ・ノリガリヤス・トダシバ・ツリガネニンジン・オカトラノオ等の数の減少がみられるが、幸い消滅には至っていない。これらの種は、板橋構内では、この土手沿いにのみ生育しているものであるため、今後も調査・観察を注意深く行う必要がある。

そして、今回の調査で、昭和61年調査終了時迄には観察されなかったオオマツヨイグサ・コメツブツメクサ・スズメノヤリ・アカバナリハコベの生育が確認された。

一方、狭山構内の全体的な特徴としては、都会では稀あるいは数少ない野草が群生している点である。たとえば、カントウタンポポ・カキドオシ・キランソウ・クサイチゴ・ノコンギク・フデリンドウ・ヘビイチゴ・ヘラオオバコ・ヤマホタルブクロ等の群生がみられる。

しかし、校舎の増設等によって減少、消滅をよぎなくされた種もある。平成4年の新食堂建設によって校内最大のカントウタンポポの群生地が失われた。狭山構内にはカントウタンポポが比較的多く生育しているが、セイヨウタンポポと混在しており、カントウタンポポとセイヨウタンポポの比率はおおよそ2:5である。

又、昭和63年頃まで認められたヤマジノホトトギスやコバギボウシの群生地も消滅し、わずかな数が生育している状況である。さらに、ジュウニヒトエ・ノアズキ・イシミカワ・ヤマホトトギスが最近2年程観察されていない。とは言え、板橋構内に比較し、さらに武蔵野の自然の豊かさを今にとどめていると言える。

本報の表-1にはそれぞれのキャンパスにおける野草を記載している。表-2では、科別の種の数が記載されている。延べ数は49科210種であり、板橋構内44科140種、狭山構内46科170種である。

両キャンパスを通じて双方に言えることは、川が近くに流れていること、鉄道がすぐ横を通っていること、戦後軍事施設に使用された払い下げ地であるという共通点などから、古くからの植生が割合良く保たれつつ、尚、帰化植物も自然に入り込んだのであろう。

この他にも、板橋構内では、植え込みによるタイワンホトトギス・ナルコユリ・ギボウシ等多くの植物があり、今後さらに変化してゆくであろうと予想されるが、なるべく自然のままに現状を維持し、市街地の中では豊かに恵まれているこの自然が、どのように残るか今後も観察を続ける必要がある。

参考文献

身近な野草図鑑 越尾, 原田 朝日出版サービス
牧野新日本植物図鑑 牧野富太郎 北隆館
北区植物調査報告書 東京都北区
日本植物図鑑 寺崎 平凡社
検索入門野草図鑑 1~8巻 長田武正 保育社

東京家政大学構内の野草について

野草検索図鑑 1～8 巻 野草検索図鑑編集委員会

北区の植物 北区

渡辺学園百年史 渡辺学園 三青社 学研

新風土記埼玉 埼玉地理学会 さきたま双書

表-1 東京家政大学構内の野草一覧

和名	科名	学名	板橋	狭山
アカネ	アカネ科	<i>Rubia cordifolia</i> L. var. <i>Mungista</i> Miq.	※	※
シロザ	アカザ科	<i>Chenopodium album</i> L.	※	※
ヘクソカズラ	アカネ科	<i>Paederia scandens</i> Memill	※	※
ヤエムグラ	アカネ科	<i>Galium Apanine</i> L.	※	※
アカバナユウゲショウ	アカバナ科	<i>Oenothera rosea</i> Air.		※
オオマツヨイグサ	アカバナ科	<i>Oenothera Lamarckiana</i> Ser.	※	
メマツヨイグサ	アカバナ科	<i>Oenothera biennis</i> L.	※	※
イヌガラシ	アブラナ科	<i>Rorippa indica</i> (L.) Hiern	※	※
オオアラセイトウ	アブラナ科	<i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O. E. Schulz	※	
タネツケバナ	アブラナ科	<i>Cardamine flexuosa</i> Withering	※	※
ナズナ	アブラナ科	<i>Capsella Bursa - pastoris</i> (L.) Medius	※	※
ニワセキショウ	アヤメ科	<i>Sisyrinchium argustifolium</i> Mill.	※	※
クサイ	イグサ科	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	※	
スズメノヤリ	イグサ科	<i>Luzula campestris</i> DC. var. <i>caoitata</i> Miq.	※	※
ギンリョウソウ	イチヤクソウ科	<i>Monotropastrum globosum</i> H. Andres		※
アオカモジグサ	イネ科	<i>Agropyron ciliare</i> Franchet	※	※
アキノエノコログサ	イネ科	<i>Setaria Faberii</i> Herrm.	※	
アブラススキ	イネ科	<i>Eccilopus cotulifer</i> A. Camus	※	
イヌビエ	イネ科	<i>Echinochloa crus - galli</i> Beauv.	※	※
エノコログサ	イネ科	<i>Setaria viridis</i> Beauv.	※	※
オヒシバ	イネ科	<i>Eleusine indica</i> Gaertner	※	※
キンエノコロ	イネ科	<i>Setaria lutescens</i> F. T. Hubbard		※
ケチチミザサ	イネ科	<i>Oplismenus undulatifolius</i> Roem. et Schult.		※
コブナグサ	イネ科	<i>Arthraxon hispidus</i> Makino		※
コメヒシバ	イネ科	<i>Digitaria chinensis</i> Homem.	※	※
ジュズダマ	イネ科	<i>Coix Lacryma - Jobi</i> L.	※	
ススキ	イネ科	<i>Miscanthus sinensis</i> Anderss.	※	※
スズメノカタビラ	イネ科	<i>Poa annua</i> L.	※	※
スズメノテッポウ	イネ科	<i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> Ohwi		※
スズメノヒエ	イネ科	<i>Paspalum Thunbergii</i> Kunth	※	※
チガヤ	イネ科	<i>Imperata cylindrica</i> Beauv.	※	※
チカラシバ	イネ科	<i>Pennisetum japonicum</i> Trinius.	※	※
トダシバ	イネ科	<i>Arundinella hirta</i> Tanaka	※	※
ナガハグサ	イネ科	<i>Poa prathensis</i> L.	※	※
ナルコビエ	イネ科	<i>Eriochloa villosa</i> Kunth	※	
ヌカキビ	イネ科	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.		※
ノガリヤス	イネ科	<i>Calamagrostis arundinacea</i> Roth	※	
ムラサキエノコロ	イネ科	<i>Setaria viridis</i> Beauv. forma <i>purpureascens</i> Maxim.	※	※
メガルカヤ	イネ科	<i>Themeda japonica</i> Tanaka	※	
メヒシバ	イネ科	<i>Digitaria adscendens</i> Henr.	※	※
メヤブマオ	イラクサ科	<i>Boehmeria platanifolia</i> French. et Sev.	※	
ヤブマオ	イラクサ科	<i>Boehmeria longispica</i> Steud.	※	
ウド	ウコギ科	<i>Aralia cordata</i> Thunb.		※
アマチャヅル	ウリ科	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> Makino		※
カラスウリ	ウリ科	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> Maxim.		※
キカラスウリ	ウリ科	<i>Trichosanthes Kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> Kitam.	※	
スズメウリ	ウリ科	<i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim.		※
オオバコ	オオバコ科	<i>Plantago asiatica</i> L.	※	
へらオオバコ	オオバコ科	<i>Plantago lanceolata</i> L.		※

オトコエシ	オミナエシ科	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	※
アカカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis comiculata</i> L. <i>O. repens</i> Thunb.	※ ※
カタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis comiculata</i> L.	※ ※
ムラサキカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis Martiana</i> Zucc.	※ ※
アゼスゲ	カヤツリグサ科	<i>Carex Thunbergii</i> Steudel	※
カヤツリグサ	カヤツリグサ科	<i>Cyperus microiria</i> Steud.	※ ※
ナキリスゲ	カヤツリグサ科	<i>Carex sendaica</i> Franchet var. <i>Nakiri</i> T. Koyama	※
ツリガネニンジン	キキョウ科	<i>Adenophora triphylla</i> A. DC. var. <i>japonica</i> Hara	※ ※
ホタルブクロ	キキョウ科	<i>Campanula punctata</i> Lam.	※
ヤマホタルブクロ	キキョウ科	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>hondoensis</i> (Kitam.) <i>Ohwi</i>	※
アカミタンポポ	キク科	<i>Taraxacum lavigatum</i> DC.	※ ※
アキノキリンソウ	キク科	<i>Solidago virga-aurea</i> L.	※ ※
アメリカセンダングサ	キク科	<i>Bidens frondosa</i> L.	※
イワニガナ	キク科	<i>Ixeris stolonifera</i> A. Gray	※ ※
オオアレチノギク	キク科	<i>Erigeron samatrensis</i> Retz.	※ ※
オオアワダチソウ	キク科	<i>Solidago serotina</i> Ait.	※
オニタビラコ	キク科	<i>Youngia japonica</i> D. C.	※ ※
オニノゲシ	キク科	<i>Sonchus asper</i> Vill	※ ※
カントウタンポポ	キク科	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst	※ ※
キツネアザミ	キク科	<i>Hemistepta carthamoides</i> O. Kuntze.	※ ※
コウゾリナ	キク科	<i>Picris hieracioides</i> L. var. <i>japonica</i> Requel	※
コオニタビラコ	キク科	<i>Lapsana apogonoides</i> Maxim.	※ ※
コゴメギク	キク科	<i>Galinsoga parviflora</i> Cav.	※ ※
コセンダングサ	キク科	<i>Bidens pilosa</i> L.	※ ※
シロバナタンポポ	キク科	<i>Traxacum alidum</i> Dahlst.	※ ※
シロヨメナ	キク科	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. var. <i>adustus</i> (Maxim.)	※ ※
セイタカアワダチソウ	キク科	<i>Solidago altissima</i> L.	※ ※
セイヨウタンポポ	キク科	<i>Taraxacum officinale</i> Weber	※ ※
タイアザミ	キク科	<i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Fr. et Sav.) Kitam.	※ ※
ダンドボロギク	キク科	<i>Erechtites hieracifolia</i> (L.) Rafin.	※ ※
チチコグサ	キク科	<i>Gnaphalium japonicum</i> Thunb.	※
チチコガサモドキ	キク科	<i>Gnaphalium purpureum</i> L.	※ ※
トキンソウ	キク科	<i>Centipeda minima</i> O. Kuntze	※
ニガナ	キク科	<i>Lactuca dentata</i> Makino.	※
ノアザミ	キク科	<i>Cirsium japonicum</i> DC	※
ノコングク	キク科	<i>Aster ageratoides</i> Turcz. var. <i>ovatus</i> Nakai.	※
ノハラアザミ	キク科	<i>Cirsium Tanakae</i> (Franch. et Savat.) Matsum.	※
ノボロギク	キク科	<i>Senecio vulgaris</i> L.	※ ※
ハキダメギク	キク科	<i>Galinsoga parviflora</i> Cav.	※ ※
ハハコグサ	キク科	<i>Gnaphalium multiceps</i> Wall.	※ ※
ハルジオン	キク科	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	※ ※
ハルノノギシ	キク科	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	※ ※
ヒメジョオン	キク科	<i>Erigeron annuus</i> L.	※ ※
ヒメムカシヨモギ	キク科	<i>Erigeron canadensis</i> L.	※ ※
ヒヨドリバナ	キク科	<i>Eupatorium japonicum</i> Thunb.	※
フキ	キク科	<i>Petasites japonicus</i> Mig.	※
ブタクサ	キク科	<i>Ambrosia artemisiaefolia</i> L.	※ ※
ブタナ	キク科	<i>Hypochaeris radicata</i> L.	※
ヤクシソウ	キク科	<i>Lactuca denticulata</i> Maxim.	※
ユウガギク	キク科	<i>Aster linumae</i> Kitam.	※

東京家政大学構内の野草について

ヨツバヒヨドリ	キク科	<i>Eupatorium sachalinense Makino</i>	※
ヨメナ	キク科	<i>Kalimeris Yomean Kitam.</i>	※
ヨモギ	キク科	<i>Artemisia vulgaris L. indica Maxim</i>	※ ※
キツネノマゴ	キツネノマゴ科	<i>Justicia procumbens L.</i>	※ ※
センニンソウ	キンボウゲ科	<i>Clematis paniculata Thunb.</i>	※
カナムグラ	クワ科	<i>Humulus japonicus Sieb. et Zucc.</i>	※ ※
クワクサ	クワ科	<i>Fatoua villosa Nakai</i>	※ ※
タケニグサ	ケシ科	<i>Macleay cordata (Willd.) R. Br.</i>	※ ※
ウリクサ	ゴマノハグサ科	<i>Lindemia crustacea (L.) F. v. Mueller</i>	※
オオイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	<i>Veronica persica Poir.</i>	※ ※
タチイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	<i>Veronica arvensis L.</i>	※ ※
トキワハゼ	ゴマノハグサ科	<i>Mazus japonicus O. Kuntze</i>	※ ※
ヒロードモウズイカ	ゴマノハグサ科	<i>Verbascum thapsus L.</i>	※
ムラサキサギゴケ	ゴマノハグサ科	<i>Mazus Miquelii Makino</i>	※
アカバナリリハコベ	サクラソウ科	<i>Anagallis arvensis L.</i>	※
オカトラノオ	サクラソウ科	<i>Lysimachia clethroides Duby</i>	※
コナスビ	サクラソウ科	<i>Lysimachia japonica Thunb.</i>	※ ※
ノジトラノオ	サクラソウ科	<i>Lysimachia barystachys Bunge</i>	※
カラスビシャク	サトイモ科	<i>Pinellia temata Breit</i>	※
イヌコウジュ	シソ科	<i>Mosla punctulata (J. F. Gmel.) Nakai</i>	※
カキドオシ	シソ科	<i>Glechomahederacea L.</i>	※
キランソウ	シソ科	<i>Ajuga decumbens Thunb.</i>	※
ジュウニヒトエ	シソ科	<i>Ajuga nipponensis Makino</i>	※
ヒメオドリコソウ	シソ科	<i>Laminum purpureum L.</i>	※
ホトケノザ	シソ科	<i>Lamium amplexicaule L.</i>	※ ※
ミョウガ	ミョウガ科	<i>Zingiber Mioga Rosc.</i>	※ ※
スベリヒユ	スベリヒユ科	<i>Portulaca oleracea L.</i>	※ ※
アメカリスミレサイシン	スミレ科	<i>Viora sororia Willd.</i>	※
コスミレ	スミレ科	<i>Viola japonica Langsd.</i>	※
スミレ	スミレ科	<i>Viola mandshurica W. Becker</i>	※ ※
タチツボスミレ	スミレ科	<i>Viola grypoceras A. Gray</i>	※ ※
オオチドメ	セリ科	<i>Hydrocotyle ramiflora Maxim.</i>	※ ※
チドリグサ	セリ科	<i>Hydrocotyle sibthorpioides Lam.</i>	※ ※
イシミカワ	タデ科	<i>Polygonum perfoliatum L.</i>	※
イタドリ	タデ科	<i>Reynourtia japonica Houtt</i>	※ ※
イヌタデ	タデ科	<i>Polygonum Blumei Meisn.</i>	※ ※
ギシギシ	タデ科	<i>Rumex japonica Houttuyn</i>	※ ※
スイバ	タデ科	<i>Rumex acetosa L.</i>	※ ※
ミズヒキ	タデ科	<i>Polygonum filiforme Thunb.</i>	※
アオツツラフジ	ツツラフジ科	<i>Sinomenium diversifolium Diels</i>	※ ※
ツユクサ	ツユクサ科	<i>Commelina communis L.</i>	※ ※
エノキグサ	トウダイグサ科	<i>Acalypha australis L.</i>	※ ※
オオニシキソウ	トウダイグサ科	<i>Euphorbia maculata L.</i>	※
コニシキソウ	トウダイグサ科	<i>Euphorbia supina Rafin.</i>	※ ※
タカトウダイ	トウダイグサ科	<i>Euphorbia pekinensis Rup. var. japonensis Makino</i>	※
ニシキソウ	トウダイグサ科	<i>Euphorbia humifusa Willd.</i>	※
ヒメミカンソウ	トウダイグサ科	<i>Phyllanthus Matsumurae Hayata.</i>	※ ※
スギナ	トクサ科	<i>Equisetum arvense L.</i>	※ ※
ドクダミ	ドクダミ科	<i>Houttuynia cordata Thunb.</i>	※ ※
テリミノイヌホオズキ	ナス科	<i>Solanum nodiflorum Jacq.</i>	※
ヒヨドリジョウゴ	ナス科	<i>Solanum lyratum Thunb.</i>	※
ヤマホロシ	ナス科	<i>Solanum japonese Nakai</i>	※ ※

オランダミミナグサ	ナデシコ科	<i>Cerastium glomeratum Thuill</i>	※	※
ツメクサ	ナデシコ科	<i>Sagina japonica Ohwi</i>	※	※
ノミノフスマ	ナデシコ科	<i>Stellaria alsine uliginosa Murr. var. undulata Franch. et Sav.</i>	※	※
ハコベ	ナデシコ科	<i>Stellaria media Cry.</i>	※	※
ミミナグサ	ナデシコ科	<i>Cerastium caespitosum Gilib. var. ianthos Hara</i>	※	
ムシトリナデシコ	ナデシコ科	<i>Silene Armeria L.</i>	※	
オヘビイチゴ	バラ科	<i>Potentilla Wallichiana Del.</i>	※	
クサイチゴ	バラ科	<i>Rubus hirsutus Thunb.</i>	※	
ナウシロイチゴ	バラ科	<i>Rubus parifolius L.</i>	※	※
ヘビイチゴ	バラ科	<i>Duchesnea chrysantha (Zoll. et Mor.) Miquel</i>	※	
ワレモコウ	バラ科	<i>Sanguisorba officinalis L.</i>	※	※
ヒナタイノコズチ	ヒユ科	<i>Achyranthes Fauriei L. ex. et Van.</i>	※	※
コヒルガオ	ヒルガオ科	<i>Calystegia hederacea Wall</i>	※	※
ヒルガオ	ヒルガオ科	<i>Calystegia japonica Choisy</i>	※	※
ヒロハヒルガオ	ヒルガオ科	<i>Calystegia sepium (L.) R. Br.</i>	※	
マルバルコウソウ	ヒルガオ科	<i>Quamoclit angulata Bojer</i>	※	※
ゲンノショウコ	フウロソウ科	<i>Geranium Thunbergii Sieb. et Zucc</i>	※	
エビツル	ブドウ科	<i>Vitis Thunbergii Sieb. et Zucc.</i>	※	※
ククバエビツル	ブドウ科	エビツルの変種	※	※
ツタ	ブドウ科	<i>Parthenocissus tricuspidata (Sieb. et Zucc.) planch.</i>	※	
ノブドウ	ブドウ科	<i>Ampelopsis brevipedunculata (Maxim.) Trautv.</i>	※	※
ヤブガラシ	ブドウ科	<i>Cayratia japonica (Thunb.) Gagn.</i>	※	※
クズ	マメ科	<i>Pueraria Thunbergiana Benth.</i>	※	※
ゲンゲ	マメ科	<i>Astragalus sinicus L.</i>	※	
コメツブツメクサ	マメ科	<i>Trifolium dubium Sibth.</i>	※	
シロツメクサ	マメ科	<i>Trifolium repens L.</i>	※	※
ヌスビトハギ	マメ科	<i>Desmodium racemosum. DC.</i>	※	
ネコハギ	マメ科	<i>Lespedeza pilosa (Thunb.) Sieb. et Zucc.</i>	※	
ノアズキ	マメ科	<i>Dunbaria villosa Makino</i>	※	
ムラサキツメクサ	マメ科	<i>Teifolium pratense L.</i>	※	
ヤハズエンドウ	マメ科	<i>Vicia sativa L.</i>	※	※
ヤブマメ	マメ科	<i>Amphicarpaea Edgeworthii Benth. var. japonica Olliver</i>	※	※
キュウリグサ	ムラサキ科	<i>Trigonotis peduncularis (Trevir.) Benth.</i>	※	※
ハナイバナ	ムラサキ科	<i>Bothriospermum tenellum Fisch. et Mey.</i>	※	
ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ科	<i>Phytolacca americana L.</i>	※	※
オニドコロ	ヤマノイモ科	<i>Dioscorea Tokoro Makino</i>	※	※
ヤマノイモ	ヤマノイモ科	<i>Dioscorea japonica Thunb.</i>	※	※
オオバギボウシ	ユリ科	<i>Hosta Sieboldiana Engl.</i>	※	
コバギボウシ	ユリ科	<i>Hosta albomarginata Ohwi</i>	※	
ジャノヒゲ	ユリ科	<i>Ophiopoon japonicus Ker - Gawl.</i>	※	※
ツルボ	ユリ科	<i>Scilla chinensis Benth.</i>	※	
ノビル	ユリ科	<i>Allium Grayi Regel</i>	※	※
ホソバオオアマナ	ユリ科	<i>Omithogalum tenuifolium Guss.</i>	※	
ヤブカンゾウ	ユリ科	<i>Hemerocallis fulva L. var. Kawanso Regel</i>	※	
ヤブラン	ユリ科	<i>Liriope platyphylla Wang et Tang</i>	※	
ヤマジノホトトギス	ユリ科	<i>Tricyrtis affinis Makino</i>	※	
ヤマホトトギス	ユリ科	<i>Tricyrtis macropoda Miq.</i>	※	
エビネ	ラン科	<i>Calanthe discolor Lindl.</i>	※	
ネジバナ	ラン科	<i>Spiranthes sinensis Ames</i>	※	※
フデリンドウ	リンドウ科	<i>Gentiana zolligeri Fawc.</i>	※	

表-2 本報に記載した野草の科名と種類

Family	No. of Species		Family	No. of Species	
	板橋	狭山		板橋	狭山
アカザ科	1	1	アカネ科	3	3
アカバナ科	2	2	アブラナ科	4	3
アヤメ科	1	1	イグサ科	2	1
イチヤクソウ科	0	1	イネ科	20	10
イラクサ科	2	0	ウコギ科	0	1
ウリ科	1	3	オオバコ科	1	2
オミナエシ科	0	1	カタバミ科	3	3
カヤツリグサ科	2	2	キキョウ科	2	2
キク科	32	39	キツネノマゴ科	1	1
キンポウゲ科	1	0	クワ科	2	2
ケシ科	1	1	ゴマノハグサ科	4	5
サクラソウ科	3	2	サトイモ科	1	0
シソ科	2	5	ショウガ科	1	1
スベリヒユ科	1	1	スミレ科	2	4
セリ科	2	2	タデ科	4	6
ツツラフジ科	1	1	ツユクサ科	1	1
トウダイグサ科	4	5	トクサ科	1	1
ドクダミ科	1	1	ナス科	2	2
ナデシコ科	4	6	バラ科	2	5
ヒユ科	1	1	ヒルガオ科	4	3
フウロソウ科	0	1	ブドウ科	4	4
マメ科	5	9	ムラサキ科	1	2
ヤマゴボウ科	1	1	ヤマノイモ科	2	2
ユリ科	4	8	ラン科	1	2
リンドウ科	0	1			

東京家政大学研究紀要第34集 p 34- p 38に誤植がありましたので以下のとおり訂正いたします。

頁	行	誤	正
34	左37	ノリガリヤス	ノガリヤス (文章中)
35	7	<i>Memill</i>	<i>Merrill</i> 以下表中
	8	<i>Apanine</i>	<i>Aparine</i>
	9	<i>Air.</i>	<i>Ait.</i>
	10	<i>Lamarckiana</i>	<i>Lamarckiana</i>
	11	<i>biennes</i>	<i>biennis</i>
	15	<i>Medius</i>	<i>Medicus</i>
	16	<i>argustifolium</i>	<i>angustifolium</i>
	18	<i>var.</i>	<i>var.</i>
	18	<i>caoitata</i>	<i>Capitata</i>
	19	<i>Monotropastru</i>	<i>Monotropastrum</i>
	22	<i>Eccilopus</i>	<i>Eccoilopus</i>
	29	<i>Homem</i>	<i>Hornem</i>
	33	<i>var.</i>	<i>var.</i>
	38	<i>prathensis</i>	<i>pratensis</i>
	42	<i>Beauv.</i>	<i>Beauv.</i>
	42	<i>Maxin.</i>	<i>Maxim.</i>
	45	<i>Sev.</i>	<i>Sav.</i>
	48	<i>pentaphyllun</i>	<i>pentaphyllum</i>
	50	<i>var.</i>	<i>var.</i>
36	2	<i>comiculata</i>	<i>corniculata</i>
	3	<i>comiculata</i>	<i>corniculata</i>
	7	<i>var.</i>	<i>var.</i>
	7	<i>T.</i>	<i>T.</i>
	12	<i>lavigatum</i>	<i>laevigatum</i>
	13	<i>virga</i>	<i>Virga</i>
	16	<i>samatrensis</i>	<i>sumatrensis</i>
	18	<i>D.C.</i>	<i>DC.</i>
	22	<i>var.</i>	<i>var.</i>
	22	<i>Requel</i>	<i>Regel</i>
	23	<i>Mexim</i>	<i>Maxim</i>
	26	<i>Traxacum</i>	<i>Taraxacum</i>
	26	<i>alidum</i>	<i>albidum</i>
	28	<i>L.</i>	<i>L.</i>
	34	チチコガサモドキ	チチコグサモドキ
	37	<i>DC</i>	<i>DC.</i>

36	38	ノコングク	ノコンギク
	38	var.	var.
	44	ハルノノギシ	ハルノノゲシ
37	52	linumae	linuma
	2	Yomean	yomena
	8	Macleay	Macleya
	9	Lindemia	Lindernia
	14	Miquelii	miquelii
	15	arvensis	arvensis
	19	temata	ternata
	21	Glechomahederacea	Glechoma hederacea
	24	Laminum	Lamium
	28	Viora	Viola
38	33	チドリグサ	チドメグサ
	35	Reynourtia	Reynoutria
	35	Houtt	Houtt.
	37	japonica	japonicus
	37	Houttuyn	Houtt.
	39	Thumb.	Thunb.
	40	diversifoliun	diversifolium
	45	Rupv.	Rupr.
	52	japanese	japonense
	10	parifolius	parvifolius
	18	Zucc	Zucc.
	21	planch.	Planch.
	26	Sibth	Sibth
	31	Teifolium	Trifolium
	34	Olliver	Oliver
	42	Ophiopoon	Ophiopogon
	45	Ornithogalum	Ornithogalum
	46	L.	L.
	52	zolligeri	zollingeri